

平成 27 年 2 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

2 月は、受注や売上が、一般機器、輸送機器で増加し、食料品、窯業・土石製品、小売業、サービス業の一部でも売上が増加している。旅館業などで大河ドラマ「花燃ゆ」の好影響もみられる。一方で、繊維工業、木材・木製品、印刷、卸売業、商店街では売上減少の様相である。

窯業・土石製品、サービス業（自動車整備業、旅館業）、運輸業の人手不足・求人難は深刻化しているが、自動車整備業では対応策を打ち出すなど動きが出ている業種もある。現状は厳しいという声が多く、地方の景況は依然として先行き不透明な状況にある。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 2 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：12.5% 悪化：27.5% DI 値：▲15.0% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：17.5% 減少：30.0% DI 値：▲12.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：13.8% 悪化：30.0% DI 値：▲16.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 2 月末現在）

| | | | | |
|--|--|---|--|---|
|  30 以上 |  30 未満～ 10 以上 |  10 未満～ ▲10 以上 |  ▲10 未満～ ▲30 以上 |  ▲30 未満 |
|--|--|---|--|---|

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 食料品 | 繊維工業 | 木材・木製品 | 印刷 | 窯業・土石製品 | 一般機器 | 輸送機器 | 全製造業 |
| ▲42.9 | ▲25.0 | ▲66.7 | ▲100 | 16.7 | 22.2 | 50.0 | ▲12.1 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卸売業 | 小売業 | 商店街 | サービス業 | 建設業 | 運輸業 | 全非製造業 |
| 20.0 | ▲44.4 | ▲75.0 | ▲33.4 | 20.0 | 0.0 | ▲17.0 |
|  |  |  |  |  |  |  |

| |
|---|
| 全体 |
| ▲15.0 |
|  |

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

| | | |
|---------|--|-------------------|
| 食料品 | 大河ドラマ「花燃ゆ」に伴う県内製造の菓子の売上増加の報告はない。バターは報道ほどの不足感はなく、注文で仕入が出来ている。 | パン・菓子製造業 |
| | 1月是对前年同月比で+15%。2月は1/23時点で昨年同月の売上をクリアしており、最終では+25%程度的大幅アップとなる見込み。1/30に国交省から「地方創生の拠点となる道の駅（全国モデル）」に選定された。 http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000472.html | 水産食料品製造業 萩市 |
| | 消費が鈍り販売量が大きく減少して、大都市圏でも同様で、業界全体の景気が悪い。 | 水産食料品製造業 下関市 |
| | 円安のため輸入原材料価格が高騰して収益を圧迫している。 | |
| | 米余りに伴う取引価格の低下についても回復するような傾向ではなく、このままでは米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが引き続き懸念されている。 | 精穀・製粉業 |
| 繊維工業 | 一般的には回復傾向といわれているが、まだまだその状況にない。受注状況は引き続き低調で、販売取引先の状況も販売が伸びず厳しい。 | 下着類製造業 |
| | 日本製の再評価が進行している。 | 外衣・シャツ製造業 山口市 |
| | 動きが鈍いようで仕事量が減少気味だが、手が空かない程度にはある。 | 外衣・シャツ製造業 下関市 |
| 木材・木製品 | 新設住宅着工数は、依然として前年を下回っている。丸太の価格も変化はない。 | 製材業・木製品製造業 山口市 |
| | 公共事業の受注も若干あったが、受注量全体としては少ない。 | 製材業・木製品製造業 下関市 |
| 印刷 | 期末にあたり2、3月の仕事量は例年どおりの推移と思われる。出版関係の低調、単価の低下は続いている。 | 印刷 |
| 窯業・土石製品 | 前年同月に比べ出荷数量は増加している。特に路盤材・再生材が良く出荷されている。骨材に関してはあまり出ていない模様。山口県内の災害復旧工事が一斉に本格化した事も理由の一つだが、人手不足の問題を抱えたままで忙しい状況。 | 砕石製造業 |
| | 出荷量は、前月比85%、前年同月比88%。4月から1月の出荷量是对前年比99%であり、このまま推移すると本年度出荷量は昨年度をやや下回る見込み。現時点はセメント・骨材等の資材調達に問題はないが、セメントの一部で4月から値上の動きがある。 | 生コンクリート製造業 |
| | 石材加工業界に若者の参入もなく、委縮してきている。 | 石工品製造業 |

| | | |
|------|---|------------------|
| 一般機器 | 自動車関連、大型店や体育館などの構造物製造関連の組合員企業は、前月に引き続き好調。ガソリン代は、上がったり下がったりであるが営業面ではややコスト減となっている。先月は景気の思わしくなかった組合員企業も2月は前年同月比で好転している。 | 一般機械器具製造業 防府市 |
| | 従来 of 機械製造関係、食品加工、スーパー等に加え農業部門からも人手不足から、外国人技能実習生受け入れ、増員の相談あり。残業が増えている企業も多く、オーバーにならないように指導している。 | 一般機械器具製造業 宇部市 |
| | 年度末で、売上が増加している。 | 一般機械器具製造業 宇部市 |
| | 金型の設備操業度は1月と同等の稼働状況。受注はやや低迷状態で新規商談は多いが、なかなか受注に至らない。価格競争が激しいが、試作案件が多く試作後の量産化に向けて取り組んでいる。最近の傾向では、自動車(バイク)、電子機器、産業用ロボット部品関係の熱硬化性金型が多くなってきている。金型、成形機とのセット受注が持ち味の組合員では今後も期待できる分野である。成形製品の生産状況は、民生部品(家電部品、電子部品)の売上が伸び悩み、設備稼働率は微増傾向にはあるものの、まだ受注量が不足している状況。試作案件は毎月あり、量産に向けこれからの受注増に期待するところ。 | 特殊産業用機械製造業 |
| 輸送機器 | 鉄道車両部門の作業量は順調に推移しており、不調な時を脱している。精密加工も後数ヶ月は高水準の作業量を維持していく見通しである。 | 鉄道車両・同部品製造業 |
| | 人材不足が継続している。 | 船舶製造・修理業 |
| 卸売業 | 事務所の屋根に太陽光発電の設備投資をする事業所が出てきている。 | 各種商品小売業 防府市 |
| | 市内の量販店への納入割合は、県外業者が増加しておりどの業種も苦慮している。 | 各種商品小売業 下関市 |
| | 安くてよい海苔が出荷されず、相変わらず、価格が高くて落札できない状況が続いている。消費の低迷もあり売上が前年対比で14.8%の減少となる見込み。今後の入札に期待したい。 | 乾物卸売業 |
| | 漁獲量・魚種が少なく、その分価格が高くなっている。“ふく”は品薄だが、天然・養殖ともに価格が安定してきている。 | 生鮮・魚介卸売業 |
| 小売業 | 昨年2月は消費税対策の駆け込み需要もあり盛り上がっていたが、今年は苦戦。健康食品コンテストは組合員の協力で目標達成ができ、組合の役員も若返り頑張っている。 | 化粧品小売業 |

| | | |
|-------|--|----------------|
| | <p>組合員は小売業者が多く2月は例年通り商戦に盛り上がりはなかった。営業日数も少なく寒いので商店街も人通りが無い。中国人観光客で賑わう地域が羨ましい。地域人口は減少しており、交流人口を増やす方策を考えないと、ますます組合員は厳しい状況となる。地区内の中小企業者の動向は1月と変わらない。建設業者は人手不足もあってこなせない程の仕事量があり暇な業者はいない。今後は採算面の回復に期待したい。福祉関連は、前月に続き看護師やヘルパーなど職員の確保に苦労している施設が多くなっている。これが賃金の上昇につながっており他業種にも波及している。小規模零細業者は人材の確保に苦労している。</p> | 各種商品小売業 岩国市 |
| | <p>大河ドラマの影響によると思われるが、萩・長門方面でのカード利用が若干増加。1月は+0.3%の売上であったが、2月は+5%以上の前年よりも取扱高が増加している。</p> | 各種商品小売業 山口市 |
| | <p>本年に入り売上、客数共に既存店ベースでも前年を下回る状況で、厳しい売上状況が続いている。</p> | 各種商品小売業 長門市 |
| 商店街 | <p>2月は近隣の大型店でイベントがあり駐車場の利用は増加したが、組合員店舗の集客とはならず、依然として厳しい状況。3月にはイベントもあり、入学・卒業・就職等の客を期待したい。</p> | 山口市 |
| | <p>地域性もあるかもしれないが、商店街に人通りが少なく比例して売上が伸びない。イベントで集客を図らないと売上の確保も難しく、今までは各店舗で催事を考えていたが、最近は卸売店と協力して催事を実施している。卸売店も小売の取引先への販売が減少しているので、苦肉の策の様様。</p> | 萩市 |
| サービス業 | <p>売上げが増加しているお店が一部あるかも知れないが、大半のお店で売上が減少していると思われる。ディスカウントショップにのみ活気があるような気がし、経営の違いだけでも思われなような気がする。</p> | 美容業 |
| | <p>状況は経営的に厳しい業界。景気好転に期待し準備をしたい。消費税8%の対応も不十分な業界で残念。</p> | 理容業 |
| | <p>将来、自動車整備士不足が予想されるので、山口県でも国・業界・整備士養成学校が連携して人材確保に取り組むための連絡会を立ち上げるようになった。</p> | 自動車整備業 |
| | <p>1月に比べると若干戻しつつあるが、厳しい状況にはかわりがない。</p> | |
| | <p>フィットネスジムは65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングは少子化の影響をどう補っていくかが課題。また、働き手の確保が難しくなってきた。</p> | スポーツ・健康教授業 |
| | <p>宿泊人員は対前年101%と前年をわずかにクリア。売上も微増であった。</p> | 旅館業 山口市 |

| | | |
|-----|--|--------------|
| | 大河ドラマ「花燃ゆ」効果でグループ旅行が増加し昼食客が増加した模様。ビジネス旅館の宿泊が増え売上が好転している模様。以前は居酒屋で済ませていた宴会が、少しずつホテルの利用に戻ってきており、地元客が中心の宴会も増加してきている。しかし、人手不足が続いており募集をしても人が来ない。 | 旅館業 下関市 |
| | 観光事業全体に不況感がある。健康産業として情報発信しているが、なかなか効果が表れない。人件費等の経費の削減等努力をつづけているが、売上高の減少となった。 | 旅館業 長門市 |
| | 萩地区では大河ドラマ「花燃ゆ」の効果で観光客が多少増加の模様で、宿泊者数のデータはないが期待した程の売上は無い模様。下松地区ではセット料金の料理で顧客獲得を目指したが割引希望客が多く、結局価格が低下している。防府地区は「花燃ゆ」の資料館ができたが効果を感じられない状況。各地区とも好材料はない。暖かくなれば、それなりに観光客も増加するとの見方があるが、「他人頼り」は結果がついてこないなので、基本的なマーケティングが必要。地道に、お客様のニーズを探り、市場を分析し、何をいつどのように提供するかを決め、試行錯誤を繰り返し、少しずつ、市場を開拓する覚悟がなければ、いい方向にたどりつけない。傾いていく市場に、起死回生の一手は無く、素直な「市場分析、全県、全業種の協働」が第一の手と考える。効率、利益の前に「お客様の満足」を計算することこそ、最重要であると思っている。 | 飲食業 |
| | 例年2月は閑散期で品物の出も悪く、来店客も激減するため、売上も減少する。対策として従業員の理解のもとお休みしてもらっている店もある。しかしこの次の季節は一年でもっとも忙しい繁忙期なので、しっかりとそこへ向けての種まきが重要な時でもあり、身体と工場機械のメンテナンスをする時でもある。この時期の販促では「早出し割引」や「保管サービス」の早期契約、クリーニングクーポンを割安感やお得感のある価格で販売するなどの工夫をし、仕事量や売上の平準化を図っているお店もある。 | 普通洗濯業 |
| 建設業 | 中電への工事申請は1月272件（当支部分219件）、前年同月272件（同232件）。太陽光発電への申請48件、オール電化申請72件（前年は太陽光56件、オール電化67件）。LED街路灯への切替・新設申請は40件（前年77件）であった。 | 電気工事業 |
| | 年度末の工事量は例年より少ないが、技能者の大幅な減少で各事業所は忙しくしている。隣接県だけでなく、北海道・新潟・大阪からも少人数の応援が来ている。 | 左官業 |
| | 建設業のうち土木業界は苦戦、建築業はまあまあの様子。土木業の入札価格は最低価格での入札がほとんどで、くじ引きとなるケースも多く、くじ運の悪い業者は下請負で食いつないでおり、トントンというところ。地区業界全体の景気は良 | 土木工事業 柳井市 |

| | | |
|-----|--|-------------------|
| | くないが、年度末で少し忙しくしている。 | |
| | 消費税10%にUPの前にと契約した新築住宅があちこちで出来ている。ハウスメーカーも年度末に向けて毎日残業している。 | 土木工事業 下松市 |
| | 2月は例年発注の少ない時期で、受注高は対前年同月比で40%。今年度の累計では、対前年同月比235%。徐々に災害復旧工事も減ってきている。 | 土木工事業 萩市 |
| | 現在、組合員は受注済みの仕事を3月末納期に向けてこなしている。人手不足で採用も検討をしたいが、3月を過ぎる4月～5月は仕事も殆ど無い状況が続くので、採用が出来ない。就職希望者も職種を選ぶ時代の売り手市場であるため、募集をしても人が集まらない。 | 管工事業 |
| 運輸業 | 依然として長距離ドライバー不足が影響しているが、なんとか対応している。鉄骨の国内輸送は活発化しているが他の物流は横ばいで、売上は前年同月比で0.73%の減少となった。近年は20～30代より、50～60代のドライバーへの依存率が高い。燃料代は12円の値下げとなっており幾分か恩恵を受けているものの、他経費が上がったなかで輸送運賃が据え置きのままとなっており依然として経営は苦しい現状である。 | 一般貨物自動車運送業 下松市 |
| | 2月の輸送量は昨年並みに落ち着いている。燃料価格も低水準に推移しているが、2月の後半に入ると上昇に向かいそうだ。 | 一般貨物自動車運送業 防府市 |
| | 物流として、全体的に運送の案件はかなり増えてきている。得意先からも新規案件や定期増便の話もあり、まずまずの状況が続いている。しかしながら採算に合わない内容の案件も多くあり、いかに収益につながる仕事を選んで受注していくかが課題である。 | 一般貨物自動車運送業 宇部市 |
| | 世界的な燃料価格の低下により輸送関係業者には有難いことと思っているが、景気の回復が情けない状況である。組合の燃料代は軽油1ℓ：95.5円、市内は1ℓ：105円だが、今後値上がりが見込まれる模様。組合のETC事業は順調で、安全運転で頑張っている。 | 一般貨物自動車運送業 下関市 |
| | タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+1.0%（1/1～2/20）。1/1～31は+1.6%、2/1～20はプラマイゼロ。ただしこれは消費税込みの金額で、消費税増税に伴いタクシー運賃（単価）も改定され、消費税を除いた金額では、前年比▲1.8%（1/1～2/20）である。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域であるが、1月分については、周南市はほぼ前年並み、下松、光は増加傾向だが、防府地区が減少。2月は寒いこともあってか、日曜祝日に加え月曜の夜の利用減少が大きいという話をよく聞く。主要燃料のLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、原油価格の下落に伴いブタン、プロパンのC | 一般旅客自動車運送業 |

| | |
|---|--|
| <p>Pは前月分よりもさらに下降し、購入単価は先月よりも5%下がった。前年度の2月が最高価格に高騰していたこともあり、前年2月分に比べ30%安価となっている。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは、大いに助かっている。売上の減少に比例して乗務員の収入も減少していることもあり、乗務員確保がたいへん難しいようで、稼働台数も減少している。株価は上昇しているようだが、まだまだ地方の個人消費は、たいへん厳しい状況が続いているように思われる。</p> | |
|---|--|